

2019. 8月13日(月)

社会福祉法人多摩福祉会

こぐま保育園

子どもは泣く

おこらず喜んで



先日電車にのっていたら、泣く子の母親にどなる人の声が聞こえた。子どもは泣くことで成長して行く。子どもが泣いていたら、おこらず喜んであげるべきだ。

その第1の理由は、話すことが出来ない小さな子どもは、相手の反応で人との関係、社会に必要なことを学んでいくからだ。おこられるとこわがってしまうだけになる。

第2の理由は自分も同じように泣いてきたが、おこられずにいろいろな人に支えられてきたからだ。自分がしてもらったことを子どもたちにしてあげなければ、今の社会を保つことも進歩させることも出来なくなってしまうと思う。

うるさくて迷惑だという人もいるが、泣くことをおこっては子どもの成長をさまたげてしまう。

子どもは未来を担う存在である。なので大切にしてほしい。〔朝日新聞より〕

奈良県 小学生 11歳

つながろう 豊かな保育

子育てのために ひろげよう 平和へのねがい



今年の合同研究集会は名古屋でした。暑い! 35度越え!!

子どもの気持ちを共有する時間やゆとりが奪われ、それが当たり前となり、やがてあきらめとなっていく。そんな保育でいいの?と集った7074人!です。

保育・子育ては何故大変になっている?〔関東学院大学 中西新太郎氏〕

子どもをとりまくニュースは厳しい内容が多くなっている。幼稚園で体罰指導もあつたばかりで、ギスギスすることが日本中何処でもおきている。バスの中で5歳児が泣いていたら80歳位の人が“うるさい”と言ったので母親が“すみません、5歳なので”と謝った。すると30歳位の人が”年齢なんて関係ない!産むな”と

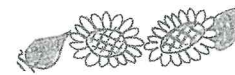
言ったと新聞にのっていた。バッシングが社会にあふれている。

一方”おはよう“の挨拶の仕方を点数化する学校、先に言われてしまうと30点など育てて欲しい姿を出し、どれ位実現できたか点数化するのがねらい。

点数が低いと保育士〔教育者〕の評価にも繋がるため、子どもを規格通りに育てようとして子どもを追い込んでいく。個性豊だと評価が下がり保育士にとって育てづらい子になる。〔こぐまが大事にしていることと真逆だ〜〕

うまく出来ないとき何をしたかったの?あ そうか。じゃあどうしようか。一緒にやってみる?と認め合う関係が大切。大変なのは自分だけではない。だからつながりあおうという気持ちが皆を元気にしてくれるし、ぎすぎすを緩和してくれる等の話を聞いてきました。

そして先の11歳の子どもの感想!子ども達の優しい気持ち、素直な思いが壊されない世の中にしていきたいと心より思います。



8月の予定



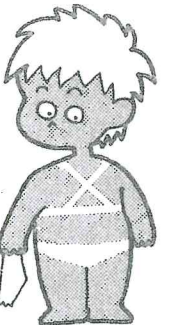
天気がよければ 毎日 プール・水遊び!!

8 避難訓練

23 誕生会

どんだんプール	7月30日~8月2日	8月6日~9日
	8月20日~23日	8月27日~30日

8日に避難訓練はプール中、水遊び中の避難でした。毎年行なうことでこの避難訓練も定着してきました。



お知らせ



*どんだんの合宿懇談会の日程変更があります。

9月6日から 9月13日に変更になりますのでよろしくお願いします。

*修繕の関係で土曜保育室の変更が生じるかもしれません。

*今年は第3者評価を受けます。3年に1度受けることが義務付けられています。いつも父母の方々にはアンケートのご協力を頂き感謝しております。回収率も評価の対象となりますので、お忙しい中ですがご協力を切に願います。よろしくお願いします。9月の取り組みとなります。